

人が生きる意味

岐阜市立東長良中学校 3年

田中俊幸(たなか としゆき)

「今、あなたが生きている意味は何ですか。」と聞かれた時、あなたはどのように答えるでしょうか。おそらく、ほとんどの人が簡単に答えることはできないでしょう。「内閣総理大臣になりたい」や、「プロ野球選手になる。」等、自分の夢ややりたい職業が生きる意味になっている人もいるでしょう。また、もしかしたら、まだ具体的な夢はなく、なんとなく生きている人もいるかもしれません。生きる意味は、変化したり、一つではなかったりします。これに対して、「言葉」はどうでしょうか。言葉には、意味があり、文章を書く際に必要になります。では、人は生きる意味がいまいである場合、必要とされていないのでしょうか。もちろん、そんなことはありません。僕は、過去に「人の生きる意味」について深く考える出来事がありました。

それは、妹の誕生です。妹は、僕と八つ離れており、僕が小学校2年生の時に生まれました。それまで一人っ子だったので、妹か弟がほしいと強く願っていました。妹が生まれることを知った僕は、大喜びしたのを今でも覚えています。ピアノを習っている僕は、過去に弾いたことのある子守唄を練習し、妹が生まれてくるのを心待ちにしていました。

しかし、母が出産のために入院するようになると、祖母と二人で暮らす時間が多く、母と会えない日々が続きました。また、妹が生まれてからすぐは、父も母も祖母も妹優先となって、今までと同じように接してくれなくなったと、僕は感じていました。「お兄ちゃんだから」と我慢することも多くありました。もちろん、生まれたばかりの妹は一人では何もできず、こうなることは仕方がないと分かっていたものの、それまで一人っ子でみんなの愛情を一身に受けていた僕は、すごく寂しかったのを覚えています。そして、それが嫌になってよく泣いていました。僕はその時一度だけ言ってしまったことがあります。「妹なんて生まれてこなければよかったのに。」と。これを言った時、母はすごく悲しそうな顔をしていました。後になって僕は、なんてひどいことをしてしまったのだろうと何度も後悔しました。母にとって、僕も妹も大切な存在なのに……。

そして、今年妹は小学1年生に、僕は中学3年生になりました。僕が、テスト勉強で疲れていると、妹からよくもらうものがあります。「べんきょうがんばってね。」と書かれた手紙を。また、部活の試合で長い時間声を出して応援してくれている妹の姿。そんな妹の姿を見ると、「よし頑張ろう。」となぜか勇気が湧いてきます。

僕は、はっきりと言い切ることはできませんが、「人が生きる意味」を妹から教わったような気がします。あなたが生きているから、僕が生きている。「あなた」が生きる理由は、「周りの人」のためだと。世界中誰とも替えのきかない「あなた」が笑ってくれるから、あなたの「周りの人」は生きています。また、あなたの大切な「周りの人」が生きている理由は「あなた」が生きているから。だから、死んでいい人、生きている必要がない人なんてこの世には誰もいません。なぜなら「あなた」がいないと生きられない人がいるからです。

僕は、妹に伝えたい。「あなたが生きていることが、僕が生きる理由です。生まれてきてくれてありがとう。」

僕の周りには、妹をはじめ大切な人がたくさんいます。家族、友達、先生、そしてこれから出会うたくさんの人々。そんな大切な人々の「あなた」になれるような生き方をしていきたいです。